

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

2月は1日平均来館者 201名 (通算4回目)

団体参観者ふえる!



## 主張

### ビキニ事件25周年記念の諸行事とその教訓

ことしはビキニ水爆被災事件25周年ということもあって、全国の各地で多彩な記念行事がくりひろげられました。それは北海道から岩手など、南は福岡、鹿児島まで、全国十数ヶ所で、それぞれ地方的な統一行動として、記念集会や街頭行動もたれました。とくに静岡では実質的な中央集会が三月一日の墓前祭(日本宗平協主催)のあと、盛大にひらかれましたが、例年ならばそれだけで終わったものが、各地で自主的に集会や行事がもたれたことは、ことしの大きな特徴のようでした。

たとえば、首都・東京でも江東区夢の島の第五福竜丸展示館(二月四日)東京集会がもたれ(二月二六日)平和協会主催の「対話と映画の夕べ」もかつてない成功を納めています。また、岩手、福岡などの集会が平和協会と緊密な連絡をとっているほか神奈川(三崎)の集会には協会の広田重道専務理事が講師として招かれています。

こうした全国の動きは、わたしの数年來の主張——ビキニ

事件の記念行事は単に静岡とかその他の集会(それが中央集會の名でも)だけで済ませず、全国的に、可能な限り、都民、県民、市民の統一行動として、いたるところで多彩に持たれるべきであるという主張に合致したものであります。

わたし共は、このようなことしの動きを歓迎するとともに、それがことしだけの現象に終わらずに、今後のなかに引きつがれることを願って止みません。さらに、このような全国的な取り組みが来るべき秋の行動——九・二三の久保山愛吉氏没後二五周年の記念行事に至るまでの原水禁運動の諸行動に生かされるべきであると念願いたします。



### 本協会理事 神崎 清先生ご逝去

本協会理事・神崎 清先生は去る三月二日早朝、慢性じん不全のため日大板橋病院で死去、

行年七四才。告別式は八月午後二時から千日谷会堂で、中野好夫妻葬儀委員長のもとに行われ、協会からは三宅泰雄会長、広田重道専務理事が参列、仏前に生花を捧げました。

### ラジオ・テレビ・新聞を賑わせた 第五福竜丸展示館

#### — 25周年を迎えて

二月に入ってから、ビキニ事件25周年ということもあって、第五福竜丸展示館のことがラジオ・テレビなどで取りあげられました。

2月24日に第五福竜丸展示館まえから平和行進が出版したとき、NHKラジオの午後のロータリーに、広田専務理事が電話

で参加しましたが、三月一日の朝のテレビ・スタジオ〇二では第五福竜丸の元乗組員大石又七さんの談話とともに展示館の光景が放映されました。また、赤旗の二月十五日、同二十四日さらに二月二十八日には展示館が大々的に報道され、朝日新聞の二月二十八日の夕刊には岩垂

### 三宅泰雄会長の新著

#### 「原子力・エネルギー」発行

三宅泰雄先生の科学論集四巻のうち、既刊の「科学について」「随筆・思索と旅」と「原子力・エネルギー」が、このほど水曜社から発売されました。定価は従来どおり二八〇〇円です。

著者はむづかしい科学とくに原子力の問題などを平易に説明することで定評がありま

すが、この「原子力・エネルギー」は(〇三)八二三一七九六(〇)は、この「原子力・エネルギー」は、その定評を裏切らず、少しも教科書的な硬さがなく、一般の家庭の方にも楽に読みこなせるので、表題にお届けずに一読されることをおすすめします。

なお、一般書店で手に入れない向きは、平和協会宛にご連絡いただければ、お世話いたします。(水曜社の電話

### 編集後記

#### 第32回理事会

ひらかれる 2月19日正午から

神田・学士会館でひらかれた32回理事会では、当面するビキニ事件25周年にかんする諸行事——三月三日の「対話と映画の夕べ」の開催、静岡県焼津での久保山愛吉氏墓前祭への参加などが決定されました。

なお、理事会では五三年度の決算その他についての方針もきまりましたが、松山副会長、神崎理事も久しぶりに出席され、神崎理事はそれが最後の出席となりました。

この「福竜丸だより」も本号で満一年を迎えました。わずかに十二号ですが、編集に当たったものには、それなりの苦勞も喜びもありました。いまは、未永く辛多かれと祈るのみです。

二月から三月にかけては、さすがに、行事もあり、来観者の数もぐっとふえ、関係者の出入りも多く、報道陣の動きも活発で、何かと多忙の日々でした。それは嬉しいことですが、ビキニ事件が三月だけで、あとは忘れられては困ると思います。

三月三日の「対話と映画の夕べ」で明らかにされたことは、現在の核兵器廃絶をめざす運動の新しい原点として、ビキニ事件が捉えられることの重要性でした。従って三・一ビキニデーのような呼称が不適當であるとの見解すらありました。つまりビキニ事件を点としてではなく、面として捉えることです。

春浅く倒れし巨木に雨静か(H



### 画期的な盛況をみせた 対話と映画の夕べ

三月三日夜、日本教育会館で

内にあふれました。

会は田沼肇協会理事の司会ではじめられ、最初に三宅泰雄会長の主催者挨拶がありました。

三宅会長は、まぐる騒動など名でよばれたビキニ事件は日本のみならず全世界をゆり動かした事件であり、それは単なる実験ではなく、核兵器による一大軍事演習として捉えるべきではないか。従ってビキニ事件を三・一ビキニデーのように受けとめることは適当ではない、と述べられました。

続いて、第五福竜丸の元乗組員(冷凍士)の大石又七さんが三月一日のあの恐ろしい早朝の体験を語り、聴衆は息をのんできき入りました。

もうひとりの報告者フォト・ジャーナリストの豊崎博光さんは、昨年春、ビキニ環礁およびマーシャル諸島を訪れたときの

体験を詳細に述べ、いかに放射能害が恐ろしいか、また、ミクロネシア住民の悲惨な様子を伝えて、感銘を与えました。

ついで広田重道専務理事から次の五つの点で、問題提起が行われました。

- ①ビキニ事件は水爆という今日的な核兵器の恐るべき性格を明らかにするうえで、核兵器完全禁止の要求の正当性を立証することではないか。
- ②ビキニ事件は単なる水爆実験ではなく、核戦争準備のための大規模な軍事演習として捉えるべきではないか。
- ③信託統治領での水爆実験は住民への被害など、国連憲章の信託統治条項違反ではないか。
- ④信託統治領内でも、公海上に危険区域を設定することは、平時国際公法違反ではないか。
- ⑤ビキニ被災事件には漁船員の

健康の追跡調査など、残されている問題があるのではないか。

そして、ビキニ被災事件25周年を迎えるに当たって、在りのままの被災の実相をもう一度、国民のまえに示すことが大切ではないか。

この問題提起をうけて参加者から、さまざまな質問や意見が出されましたが、七時二〇分で一応、打ち切れられ、映画の上映に入りしました。

不朽の名作といわれる映画『第五福竜丸』が、感動のうちに上映されたのち、協会評議員本多喜美女史から閉会の辞が述べられました。とくに第五福竜丸展示館見学の大切なことが訴えられました。また、去る三月二日に逝去の神崎清先生への追悼のことが述べられました。

かくて、九時二〇分に散会しましたが、この集会には若い人びとが圧倒的に多かったこと、協会主催の集会として画期的な三百名をこえる参加者のあったことなどが印象的でした。

た。ビキニ・デーを手はじめに核廃絶の運動に引きつづき取り組めます。

小六男 中条

米・ソのかく兵器の実験や制作の競争なんてばからしいと思えます。本当の科学は平和に利用することが必要だと思えます。小六担任 教員

### ビキニ被災25周年をめぐる 多彩な行事 そのいくつかを拾う

小雨の平和行進

二月二四日(土)の午後、江東区夢の島・第五福竜丸展示館のまえから約百名のビキニ被災25周年記念の平和行進が、折からの冷たい小雨をついて亀戸にむけて出発し、沿道の人びとに核兵器完全禁止を訴えました。

これは東京原水協などのよびかけで行われたのですが、出発に先き立っての集会では、各界代表の挨拶があり、平和協会の広田重道専務理事も激励の挨拶を行いました。

五百人の東京集会

二月二六日夜、東京・神田の日本教育会館の大ホールで、核兵器完全禁止・被爆者援護79年三・一ビキニデー東京集会がひらかれました。

これは東京原水協の主催による集会でしたが、若い人を中心して約五百名が参加し、歌もあり

訴えもあり、アピールもという多彩な行事でした。

墓前祭、静岡集会など

三月一日午前九時から静岡県焼津市の弘徳院で久保山愛吉氏の墓前祭が、例年のとおり日本宗平協の主催でひらかれました。

この集会には協会代表として広田重道専務理事が出席して墓前に花を供えました。

同日午後、静岡大学などで地元静岡県民準備会主催の記念集会がひらかれ、その分散会には広田専務理事が助言者として出席しました。

各地で活発なとりくみ

以上のほか、北海道(三月一日)石川(同二日)兵庫(同三日)神奈川(同三日)和歌山(同四日)に集会があり、岩手、千葉、長野、広島、鳥取、福岡、長崎などの各県でも、さまざまな行動がとられました。

### 来館者の 声から



朝日新聞奨学生代表 山田

現在、これからの核のあり方を問う物件として、長く保存し世間一般の人びとにも考えてもらいたいものです。

Y・S (無職)

福竜丸は死んだのではない。福竜丸は永久に不滅だ

なぜなら 彼は生きているのだ。聞えるだろう。福竜丸の心音が聞えるだろう。彼の怒りの声が聞えるだろう。 小四女 清宮

私はきよねん一どだけきましたが、いつみても、げんばくのおそろしさがみにしみます。このひとことしかいけません。

労組員 内海

私たちの労働組合でも何度か見学にきました。私は今日はじめてきました。やはり、きくより見ることが大切だと思います。説明がよく、たいへん良か

から来てー。

高橋功「赤旗」ハノイ特派員

が、去る三月七日午後、中越国境付近で取材中、中国兵の銃撃を受け殉職されました。ここにつつしんで哀悼の意を表します